

LAN インターフェース設定ツール IPSet Version3.00 取扱説明書

発行日 2017年2月1日
Ver 1.01

タカヤ株式会社

マニュアル番号：TDR-MNL-IPSETV300-101

はじめに

このたびは、弊社製品をご利用いただき、誠にありがとうございます。
本製品を安全に正しくご使用いただくため、本書をよく読み、いつでも参照できるよう、手近な所に保管してください。

IPSet バージョンアップ履歴

2013/02/21 v3.0.0.0

[システム構成の変更]

- ・ Target Framework の変更 (.NET Framework 2.0 → 3.5)
- ・ Platform Target の変更 (x86 → Any CPU)

[動作 OS の追加]

- ・ Windows 8 Professional Edition 32bit
- ・ Windows 8 Professional Edition 64bit
- ・ Windows 8.1 Professional Edition 32bit 版 (2017/2/1 追記)
- ・ Windows 10 Pro 32bit 版 (2017/2/1 追記)
- ・ Windows 10 Enterprise 32bit 版 (2017/2/1 追記)
- ・ Windows 8.1 Professional Edition 64bit 版 (2017/2/1 追記)
- ・ Windows 10 Pro 64bit 版 (2017/2/1 追記)
- ・ Windows 10 Enterprise 64bit 版 (2017/2/1 追記)

2012/04/04 V2.0.0.0

[TR3XM シリーズ対応]

TR3XM シリーズリーダーライタ (工場出荷時 IP アドレス 192.168.0.1) への対応

2011/06/10 v1.0.2.0

[動作OSの追加]

- ・ Windows 7 Professional Edition 64bit
- ・ Windows 7 Enterprise Edition 64bit

※ただし、アプリケーションは32bitアプリケーションとして動作

2010/08/17 v1.0.1.0

[不具合の修正]

- ・ Windows7で動作させた場合にレイアウトが崩れる不具合を修正

2010/03/05 v1.0.0.0

初版リリース

ソフトウェア使用許諾契約書

本契約は、お客様（個人・法人を問いません）とタカヤ株式会社との間の契約です。

お客様は、本ソフトウェアをコンピュータにインストールする、または複製する、またはコンピュータにインストールされた本ソフトウェアを使用することで本契約に同意されたものとみなされます。

本契約に同意頂けない場合は、本製品（コンピュータプログラム、CD-ROM などの製品媒体、付帯ドキュメント、その他一切のもの）を当社あてにご返却下さい。また本ソフトウェアをネットワーク経由でダウンロードして入手した場合は、入手したファイルをコンピュータから削除してください。

第1条 使用権の許諾

- 1) お客様は本契約への同意を前提にライセンス数に制限無く本ソフトウェアを使用することができます。
- 2) お客様は本契約書の添付を条件に本ソフトウェアを第三者に対し無償で配布することができます。

第2条 追加許諾条項

本ソフトウェアを定められた目的に従って使用した結果、作成された各種のファイルは、お客様の著作物となります。

第3条 著作権

- 1) 本ソフトウェアに関する著作権、特許権、商標権、ノウハウおよびその他すべての知的財産権は、当社に帰属することとします。
- 2) お客様は、本ソフトウェアに付された著作権表示等の注釈を削除または改変してはならないものとします。
- 3) 本契約は、本契約に明示された場合を除き、本ソフトウェアに関する何らかの権利をお客様に許諾あるいは譲渡するものではありません。

第4条 禁止事項

- 1) コンピュータプログラムのリバースエンジニアリング、逆コンパイルまたは逆アセンブルを行うこと。また、これらの方法やその他の方法でソースコードの解読を試みること。
- 2) 本ソフトウェアの一部またはすべてを変更すること。また、二次的著作物を作成すること。
- 3) 本ソフトウェアの販売、営利目的での配布を行うこと。

第5条 無保証

- 1) 当社は、本ソフトウェアがお客様の特定目的のために適当であること、有用であること、本ソフトウェアに瑕疵がないこと、その他本ソフトウェアに関していかなる保証もいたしません。
- 2) 当社は、本ソフトウェアが第三者の知的財産権その他の権利を侵害していないことを一切保証しません。お客様は、お客様ご自身の判断と責任により本ソフトウェアをご使用になるものとします。
- 3) 本ソフトウェアや関連するすべての資料は、事前の通知なしに改良、変更することがあります。

第6条 免責

当社は、いかなる場合においても、本ソフトウェアの使用または使用不能から生ずるいかなる損害（事業利益の損害、事業の中断、事業情報の損失、またはその他金銭的損害）に関して、一切責任を負いません。

第7条 サポート

お客様が本ソフトウェアに関するサポートをご希望になる場合は、当社 RF 事業部までお問合せください。

連絡先

〒108-0074

東京都港区高輪 2-16-45 高輪中山ビル

タカヤ株式会社 事業開発本部 RF 事業部 RF 営業部

E-MAIL: rfd@takaya.co.jp

第8条 契約の解除

お客様が本使用許諾契約に違反した場合、当社は本使用許諾契約を解除することができます。その場合、お客様は本ソフトウェアの使用を中止し、プログラムをコンピュータからアンインストールし、本製品を当社へ返却するものとします。また、本ソフトウェアをネットワーク経由でダウンロードして入手した場合は、入手したファイルをコンピュータから削除してください。

(2013年2月 版)

目次

第1章	セットアップ	1
1.1	動作環境	2
1.2	動作対象機器	3
1.3	インストーラの準備	4
1.4	インストール	5
第2章	起動と終了	9
2.1	起動する	10
2.2	終了する	11
第3章	リーダライタとの通信を開始する	12
3.1	PCのIPアドレスを変更する	13
3.2	ログイン画面	16
3.3	工場出荷時のリーダライタと通信を開始する	17
3.4	LAN インターフェース設定を変更する (→4章)	20
3.5	設定変更後のリーダライタと通信を開始する	21
第4章	LAN インターフェース設定	24
4.1	工場出荷時設定一覧	25
4.2	設定一覧	26
4.3	基本設定	27
4.4	詳細設定	28
4.5	PING テスト	30
4.6	設定保存/復元	32
4.7	パスワード変更	35
4.8	初期化	37
変更履歴	38

第1章 セットアップ

本章では、本ソフトウェアのセットアップ手順を説明します。

1.1 動作環境

セットアップを始める前に、お使いになっているパソコンの動作環境をご確認ください。
本ソフトウェアを快適にご利用いただくためには、以下の環境を満たしている必要があります。

CPU 周波数	: 2.0 GHz 以上
メモリ容量	: 2.0 GB 以上
ディスプレイ解像度	: 1024 x 768 以上
OS	: Windows XP Professional Edition 32bit 版 SP2 以上 Windows Vista Business Edition 32bit 版 SP1 以上 Windows 7 Professional Edition 32bit 版 Windows 8 Professional Edition 32bit 版 Windows 8.1 Professional Edition 32bit 版 Windows 10 Pro 32bit 版 Windows 10 Enterprise 32bit 版 Windows 7 Professional Edition 64bit 版 Windows 7 Enterprise Edition 64bit 版 Windows 8 Professional Edition 64bit 版 Windows 8.1 Professional Edition 64bit 版 Windows 10 Pro 64bit 版 Windows 10 Enterprise 64bit 版
.NET Framework	: Microsoft .NET Framework 3.5

また、本ソフトウェアには、外部ファイルからのデータ読み取りや外部ファイルへのデータ出力機能が備えられています。それらの機能を利用する場合には、管理者権限を必要とする場合がありますのでご注意ください。

1.2 動作対象機器

本ソフトウェアを使用して LAN 設定が可能な機器は以下の通りです。

<動作対象機器>

- TR3-IF-N1
- TR3-N001E (B)
- TR3XM-SN01
- TR3-N001C-8
- TR3-MN001C-8
- TR3-MN001E-L/S
- TR3-LN003D-L/S
- TR3-LN003D-8
- TR3-LN003GW4LM-L
- TR3-G003
- TR3-G001B (販売終了品)
- TR3-G002 (販売終了品)

1.3 インストーラの準備

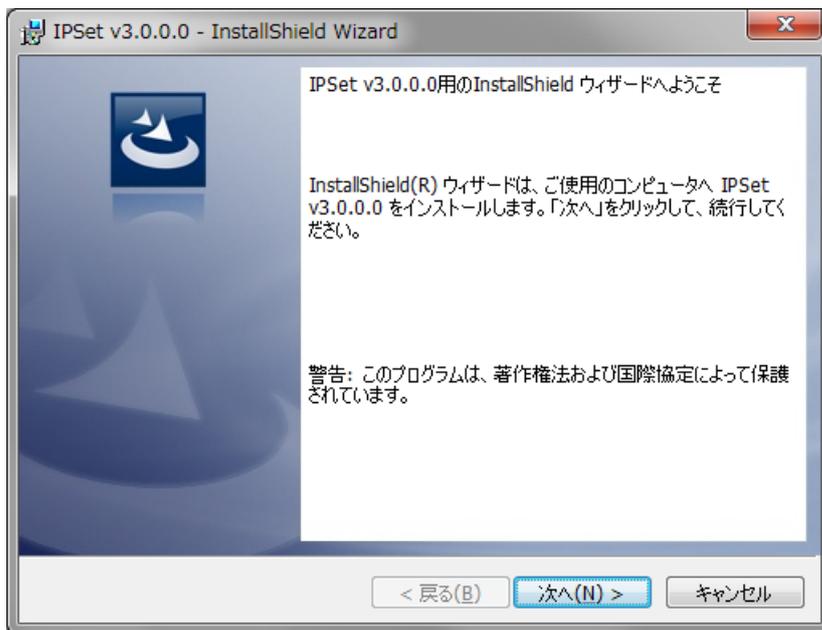
本ソフトウェアのインストーラをご準備ください。
インストーラは、WEB サイトからダウンロードすることができます。

- WEB サイト
<http://www.takaya.co.jp/products/rfid/manuals.htm>

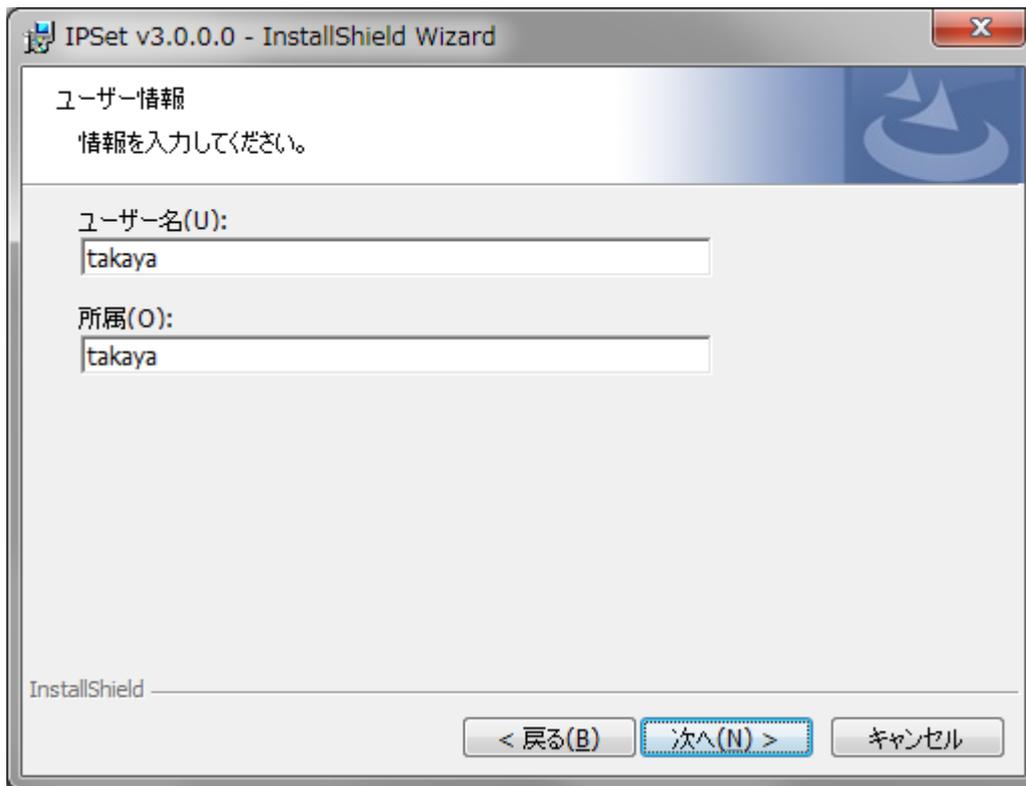
setup.exe ファイルをダブルクリックするとインストールウィザードが起動します。

1.4 インストール

- 1) 管理者権限のあるローカルユーザアカウントでログインしてください。
- 2) Windows で動作中のソフトウェアをすべて終了させてください。
- 3) **setup.exe** ファイルをダブルクリックするとインストールウィザードが起動します。
本ソフトウェアは、**Microsoft .NET Framework 3.5**（以降、フレームワーク 3.5）上で動作するソフトウェアです。お使いのパソコンにフレームワーク 3.5 がインストールされていない場合は、別途インストールが必要です。
- 4) 本ソフトウェアのセットアップウィザードです。
[次へ]ボタンをクリックしてください。



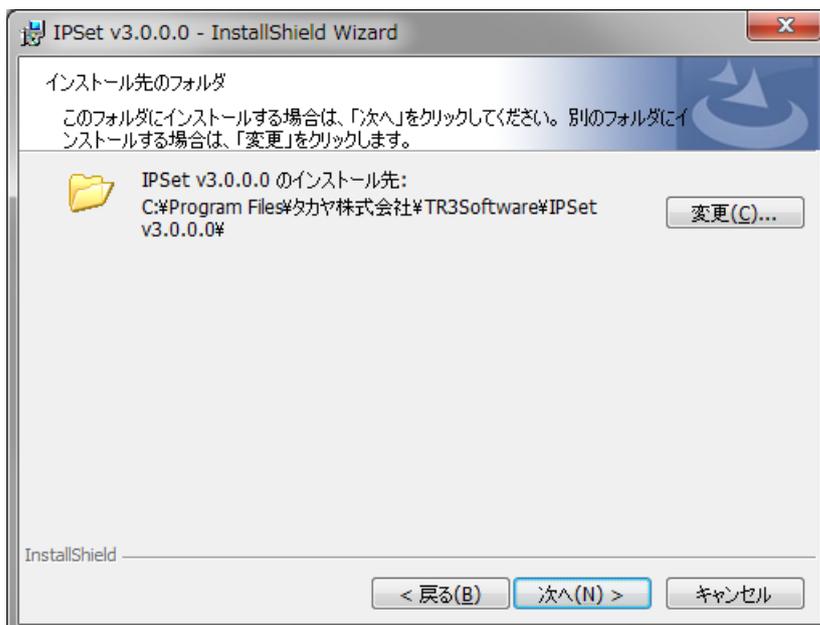
5) ユーザ情報を入力してください。



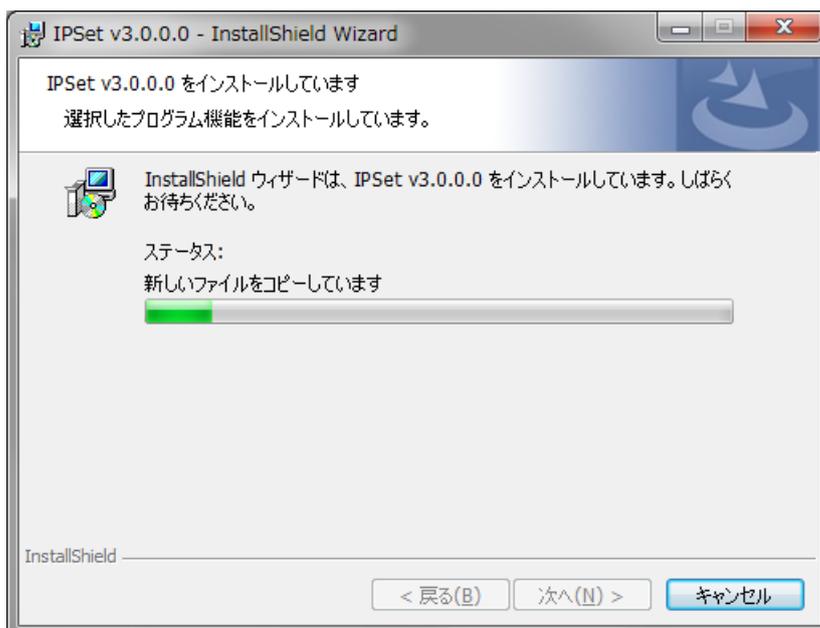
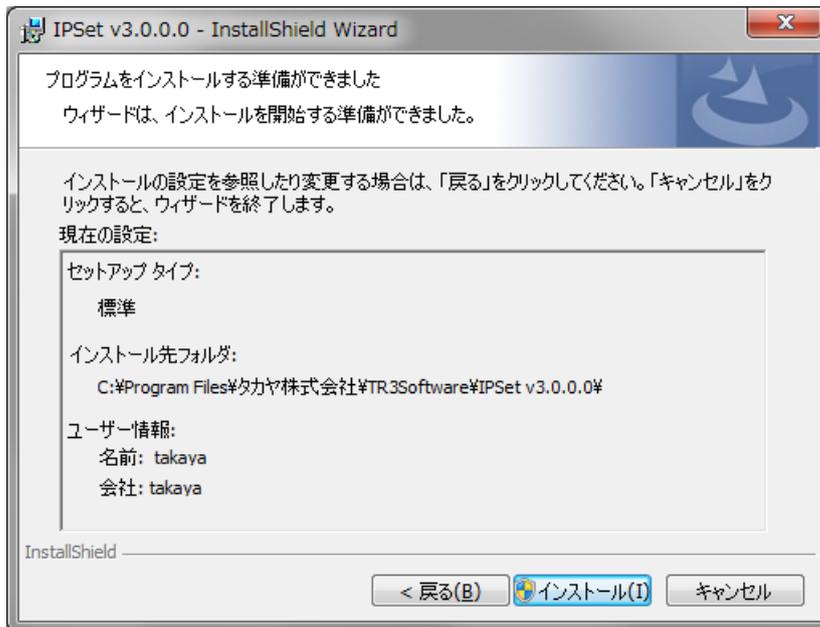
6) 本ソフトウェアのインストールフォルダを選択してください。
既定のインストールフォルダは以下のとおりです。フォルダが存在しない場合は、自動的に作成されます。

C:\Program Files\takaya株式会社\TR3Software\IPSet v3.0.0.0

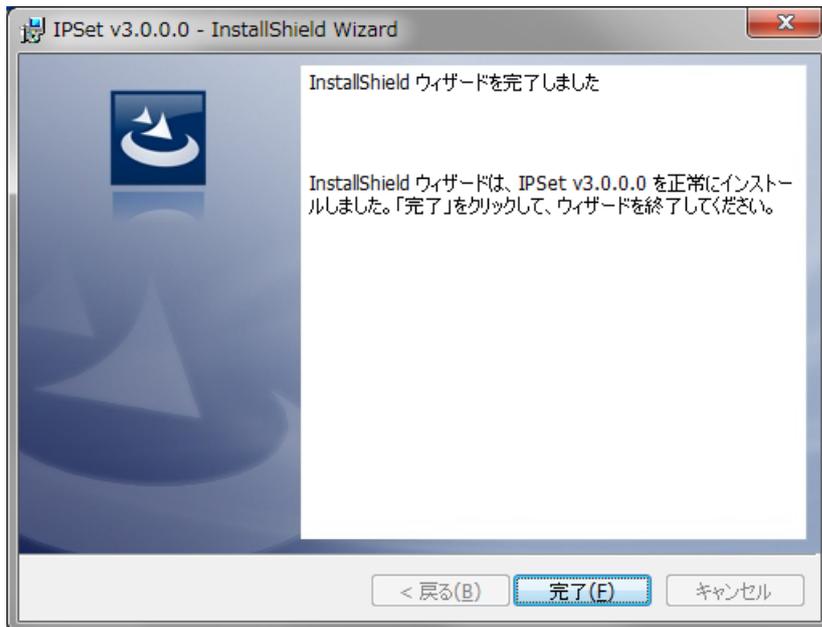
既定のインストールフォルダを変更する場合は、[変更]ボタンをクリックしてインストールフォルダを選択してください。以降、本書では、既定のインストールフォルダにインストールされたこととして説明します。



- 7) インストールの準備が整いました。
[インストール]ボタンをクリックするとインストールが開始されます。



- 8) インストールが終了しました。
[閉じる]ボタンをクリックしてください。



- 9) デスクトップ上に本ソフトウェアのショートカットが作成されます。



- 10) プログラムメニューに本ソフトウェアのショートカットが作成されます。
[プログラム] – [TR3Software] – [IPSetV300]

第2章 起動と終了

本章では、本ソフトウェアの起動方法と終了方法を説明します。

2.1 起動する



デスクトップ上に作成されたショートカットアイコン  をダブルクリックすると「IPSet」が起動します。

または、スタートメニューから[プログラム] - [TR3Software] - [IPSetV300]をクリックすると「IPSet」が起動します。

起動すると次の画面が表示されます。



2.2 終了する

メニューの[設定終了]をクリックすると「IPSet」が終了します。

LANConf

LANインターフェース設定

MACアドレス
00-03-D1-00-01-FA

●設定一覧
基本設定
詳細設定

PINGテスト
設定保存/復元
パスワード変更
初期化

★ 設定終了

設定一覧	
設定内容	設定値
Local IP	10.16.77.170
Mask Address	16
Local Port	10777
Default Route IP	0.0.0.0
Keep Alive	有効
無通信監視タイマ値(min)	1
Connection動作	アクティブ・オープン
Foreign IP	10.16.77.171
Foreign Port	3335
通信速度	19200bps
TCP Send Timer(ms)	10
パッシブ・オープン受付許可IP 01	0.0.0.0
パッシブ・オープン受付許可IP 02	0.0.0.0
パッシブ・オープン受付許可IP 03	0.0.0.0
パッシブ・オープン受付許可IP 04	0.0.0.0
パッシブ・オープン受付許可IP 05	0.0.0.0
パッシブ・オープン受付許可IP 06	0.0.0.0
パッシブ・オープン受付許可IP 07	0.0.0.0
パッシブ・オープン受付許可IP 08	0.0.0.0

第3章 リーダライタとの通信を開始する

本章では、リーダーライタとの通信を開始する方法について説明します。

3.1 PC の IP アドレスを変更する

PC – リーダライタ間で TCP/IP 通信を行うためには、双方の端末同士で IP アドレスとサブネットマスクを通信可能な状態に設定しておく必要があります

本項では、リーダライタの IP アドレスとサブネットマスクが以下の設定であるケースを例に、PC 側の設定変更手順を説明します。

リーダライタの IP アドレス : 10.16.77.170
リーダライタのサブネットマスク : 255.255.0.0(マスク長 : 16 ビット)

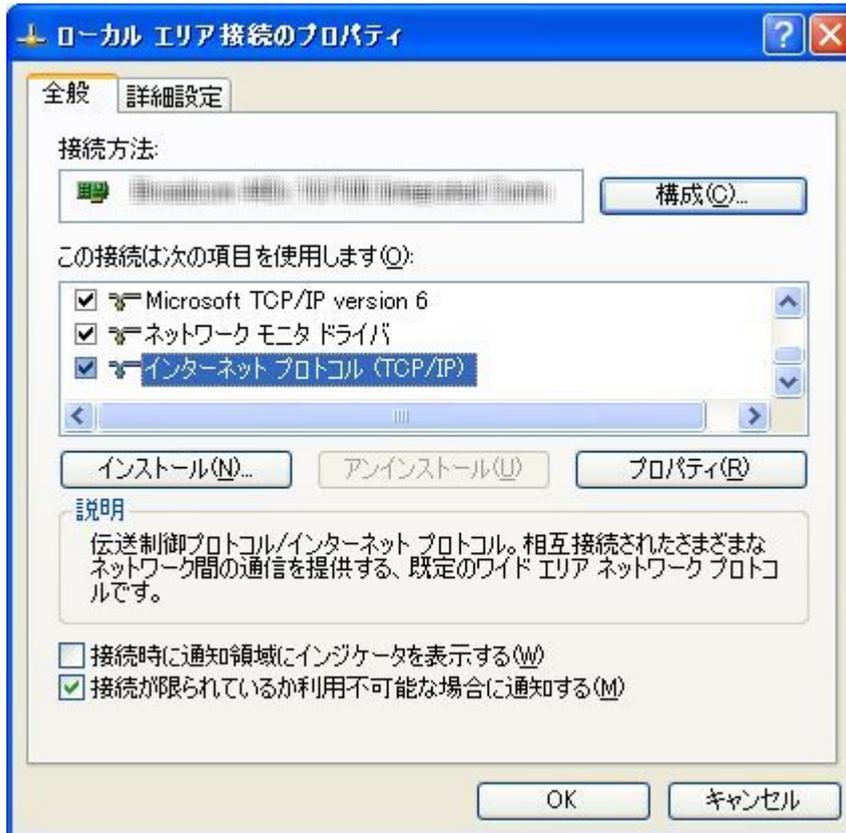
1) ネットワーク接続画面を起動する

Windows のネットワーク接続画面を起動します。

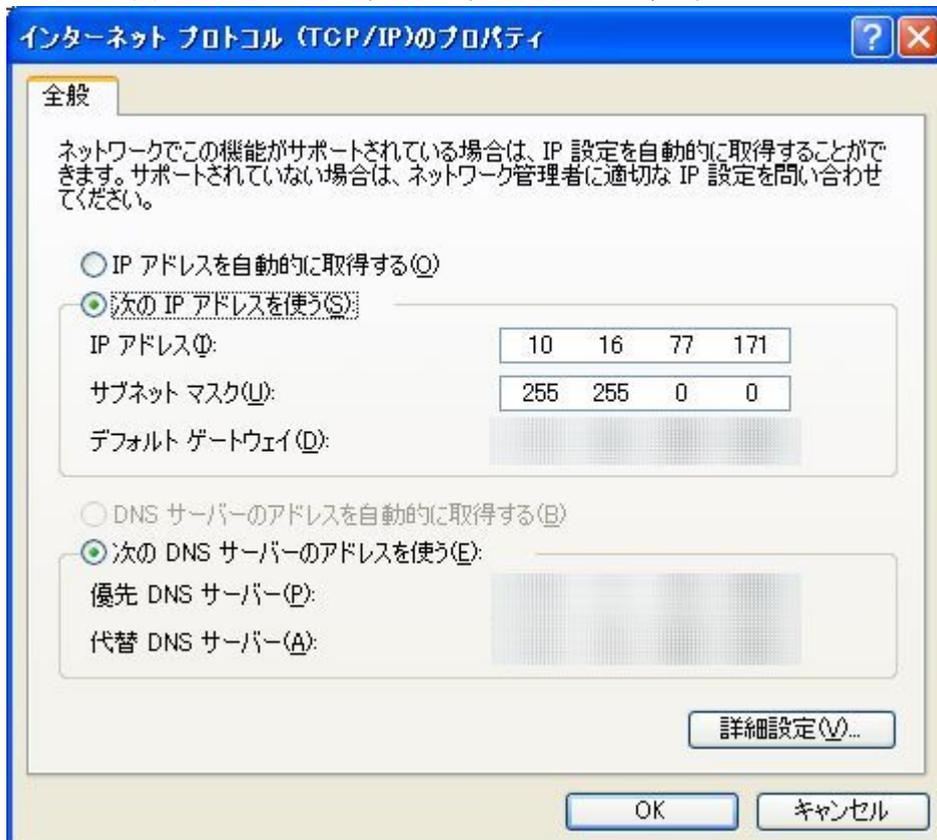
ネットワーク接続画面は、マイネットワーク – [プロパティ]から起動します。



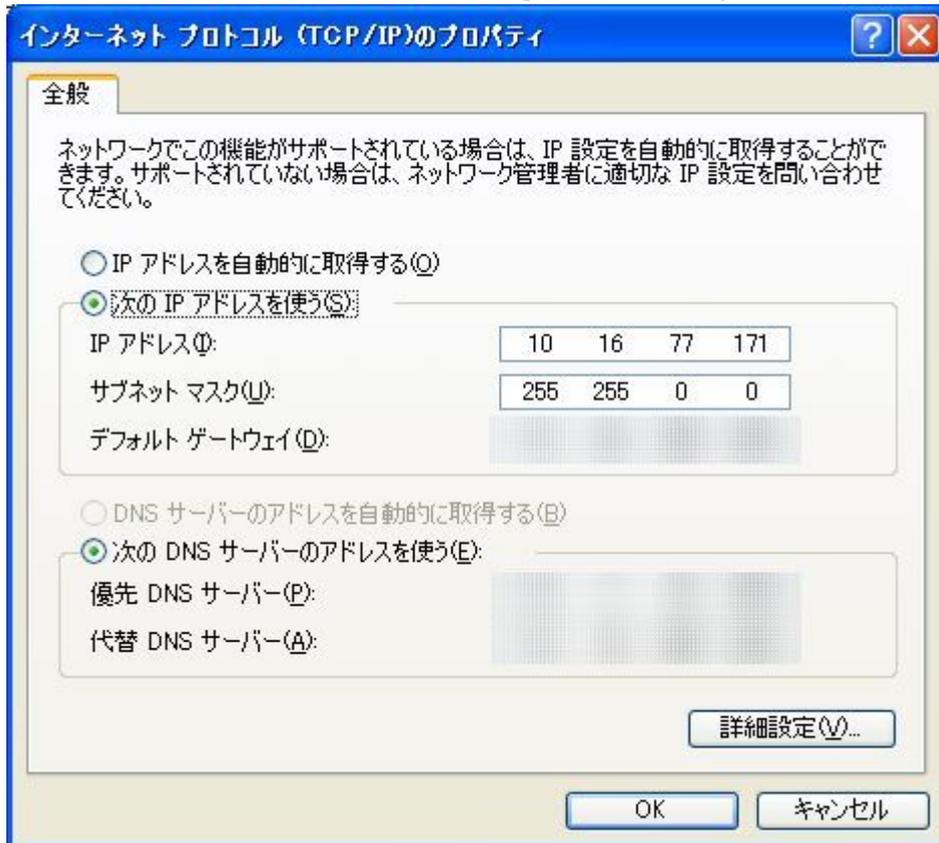
2) ローカルエリア接続のプロパティを開く



3) インターネットプロトコル (TCP/IP) のプロパティを開く



- 4) IP アドレスとサブネットマスクを入力する
IP アドレス入力欄に「10.16.77.171」を入力します。
サブネットマスク入力欄に「255.255.0.0」を入力します。



[OK]ボタンをクリックすることで入力した設定値が反映されます。

- PC に IP アドレス「10.16.77.171」を割り当てた理由
IPv4 ネットワークでは、全 32 ビットの IP アドレスをネットワークアドレスとホストアドレスに分割して管理しています。
同一のネットワークアドレスを持つ端末同士によって一つのネットワークが構成され、特定のネットワーク内に属する端末同士は一意に割り当てられたホストアドレスによって識別されます。

本項記載の設定例では、リーダーライタのサブネットマスクを「255.255.0.0」と定義していますが、この定義は IP アドレスの前半 16 ビットをネットワークアドレス、後半 16 ビットをホストアドレスとすることを示しており、そのため前半 16 ビット（ネットワークアドレス）が等しく、且つ後半 16 ビット（ホストアドレス）が異なる「10.16.77.171」の IP アドレスを PC 側に割り当てています。

リーダーライタの IP アドレス	10.16.77.170
PC の IP アドレス	10.16.77.171

3.2 ログイン画面



- IP アドレス
リーダーライタの IP アドレスを入力します。
- パスワード
リーダーライタのパスワードを入力します。
本ソフトウェアは、Telnet を使用してリーダーライタの LAN インターフェースへ接続します。
入力するパスワードは Telnet ログイン時のパスワードです。
工場出荷時の設定では「RAS」（大文字、3 文字）に設定されています。
- 工場出荷時のパスワードを利用する。
LAN インターフェース製品の工場出荷時に設定されているパスワード「RAS」（大文字、3 文字）を使用する場合にチェックします。
本項目がチェックされている場合は、パスワード入力欄に入力された値は無視されます。



- 工場出荷時の IP アドレスを利用する。
LAN インターフェース製品の工場出荷時に設定されている IP アドレス「10.16.77.170」を使用する場合にチェックします。
本項目がチェックされている場合は、IP アドレス入力欄に入力された値は無視されます。
ご使用の機種を選択します。
 - ・ TR3 シリーズ (10.16.77.170)
 - ・ TR3XM シリーズ (192.168.0.1) ※TR3XM-SN01 が対象になります

3.3 工場出荷時のリーダーライタと通信を開始する

工場出荷時のリーダーライタ (IP アドレスとログインパスワードを工場出荷時から変更していないリーダーライタ) と通信を行う場合には、次の画面のように入力して[OK]ボタンをクリックします。

工場出荷時の IP アドレスとログインパスワードは以下のとおりです。

<TR3 シリーズ>

IP アドレス : 10.16.77.170
ログインパスワード : RAS (大文字、3 文字)

<TR3XM-SN01>

IP アドレス : 192.168.0.1
ログインパスワード : RAS (大文字、3 文字)



- IP アドレス
任意の IP アドレスを入力します。
[工場出荷時の IP アドレスを利用する]をチェックした場合、ここで入力された値は無視されます。(どのような値を入力しても動作に変わりありません)
- パスワード
任意のパスワードを入力します。
[工場出荷時のパスワードを利用する]をチェックした場合、ここで入力された値は無視されます。(どのような値を入力しても動作に変わりありません)
- 工場出荷時のパスワードを利用する
チェックします。
工場出荷時のパスワード「RAS」(大文字、3 文字)が適用されます。
パスワード入力欄に入力された値は無視されます。
- 工場出荷時の IP アドレスを利用する
ご使用の機種を選択します。
 - ・ TR3 シリーズ (10.16.77.170)
 - ・ TR3XM シリーズ (192.168.0.1) ※TR3XM-SN01 が対象になります

IP アドレス入力欄に入力された値は無視されます。

リーダーライタとの通信が正常に開始された場合は、次の画面のように表示されます。

<TR3 シリーズ>

LANインターフェース設定		
MACアドレス	設定一覧	
00-03-D1-00-02-FA	設定内容	設定値
	Local IP	10.16.77.170
	Mask Address	16
	Local Port	10777
	Default Route IP	0.0.0.0
	Keep Alive	有効
	無通信監視タイム値(min)	1
	Connection動作	パッシブ・オープン
	Foreign IP	0.0.0.0
	Foreign Port	3335
	通信速度	19200bps
	TCP Send Timer(ms)	10
	パッシブ・オープン受付許可IP 01	0.0.0.0
	パッシブ・オープン受付許可IP 02	0.0.0.0
	パッシブ・オープン受付許可IP 03	0.0.0.0
	パッシブ・オープン受付許可IP 04	0.0.0.0
	パッシブ・オープン受付許可IP 05	0.0.0.0
	パッシブ・オープン受付許可IP 06	0.0.0.0
	パッシブ・オープン受付許可IP 07	0.0.0.0
	パッシブ・オープン受付許可IP 08	0.0.0.0

<TR3XM-SN01>

LANインターフェース設定		
MACアドレス	設定一覧	
	設定内容	設定値
	Local IP	192.168.0.1
	Mask Address	24
	Local Port	9004
	Default Route IP	0.0.0.0
	Keep Alive	有効
	無通信監視タイム値(min)	1
	Connection動作	アクティブ・オープン
	Foreign IP	0.0.0.0
	Foreign Port	9004
	通信速度	19200bps
	TCP Send Timer(ms)	10
	パッシブ・オープン受付許可IP 01	0.0.0.0
	パッシブ・オープン受付許可IP 02	0.0.0.0
	パッシブ・オープン受付許可IP 03	0.0.0.0
	パッシブ・オープン受付許可IP 04	0.0.0.0
	パッシブ・オープン受付許可IP 05	0.0.0.0
	パッシブ・オープン受付許可IP 06	0.0.0.0
	パッシブ・オープン受付許可IP 07	0.0.0.0
	パッシブ・オープン受付許可IP 08	0.0.0.0

IP アドレスが間違っていた場合は、次の画面のように表示されます。



パスワードが間違っていた場合には、次の画面のように表示されます。



3.4 LAN インターフェース設定を変更する (→4章)

4章を参照いただき、各種LAN インターフェース設定 (IP アドレス、ポート番号等) を変更します。

3.5 設定変更後のリーダーライタと通信を開始する

IPアドレス、ログインパスワードを工場出荷時の値から変更したリーダーライタと通信を行う場合には、次の画面のように入力して[OK]ボタンをクリックします。

リーダーライタのIPアドレスとログインパスワードは以下のとおりとします。

IPアドレス : 10.16.77.169

ログインパスワード : RAS2 (RAS2 へパスワードを変更した場合)



- IPアドレス
「10.16.77.169」を入力します。
- パスワード
「RAS2」を入力します。
- 工場出荷時のパスワードを利用する
チェックをはずします。
- 工場出荷時のIPアドレスを利用する
チェックをはずします。

リーダライタとの通信が正常に開始された場合は、次の画面のように表示されます。



IP アドレスが間違っていた場合は、次の画面のように表示されます。



パスワードが間違っていた場合には、次の画面のように表示されます。



第4章 LAN インターフェース設定

本章では、LAN インターフェース設定方法について説明します。

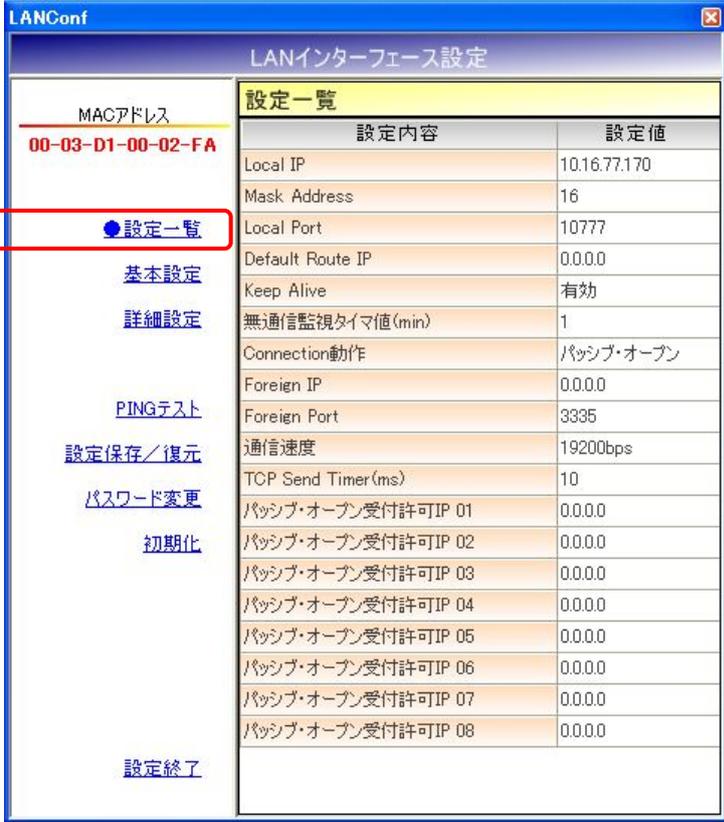
4.1 工場出荷時設定一覧

工場出荷時には、LAN インターフェースの各設定値が下表のように設定されています。

No.	LAN 設定パラメータ	出荷時設定値	
		TR3 シリーズ	TR3XM シリーズ
1	Local IP (リーダライタ)	10.16.77.170	192.168.0.1
2	Mask Address	16 (255.255.0.0)	24 (255.255.255.0)
3	Local Port	10777	9004
4	Default Route IP	0.0.0.0	0.0.0.0
5	Keep Alive	有効 (1)	有効 (1)
6	無通信監視タイマ値(min)	1	1
7	Connection 動作	アクティブ・オープン	アクティブ・オープン
8	Foreign IP (上位機器)	10.16.77.171	0.0.0.0
9	Foreign Port	3335	9004
10	通信速度	19200	19200
11	TCP Send Timer(ms)	10	10
12	パッシブ・オープン受付許可 IP01	0.0.0.0	0.0.0.0
13	パッシブ・オープン受付許可 IP02	0.0.0.0	0.0.0.0
14	パッシブ・オープン受付許可 IP03	0.0.0.0	0.0.0.0
15	パッシブ・オープン受付許可 IP04	0.0.0.0	0.0.0.0
16	パッシブ・オープン受付許可 IP05	0.0.0.0	0.0.0.0
17	パッシブ・オープン受付許可 IP06	0.0.0.0	0.0.0.0
18	パッシブ・オープン受付許可 IP07	0.0.0.0	0.0.0.0
19	パッシブ・オープン受付許可 IP08	0.0.0.0	0.0.0.0

4.2 設定一覧

本ソフトウェアで変更可能な LAN インターフェース設定値が一覧表示されます。



LANConf

LANインターフェース設定

MACアドレス
00-03-D1-00-02-FA

★ ● **設定一覧**

[基本設定](#)

[詳細設定](#)

[PINGテスト](#)

[設定保存/復元](#)

[パスワード変更](#)

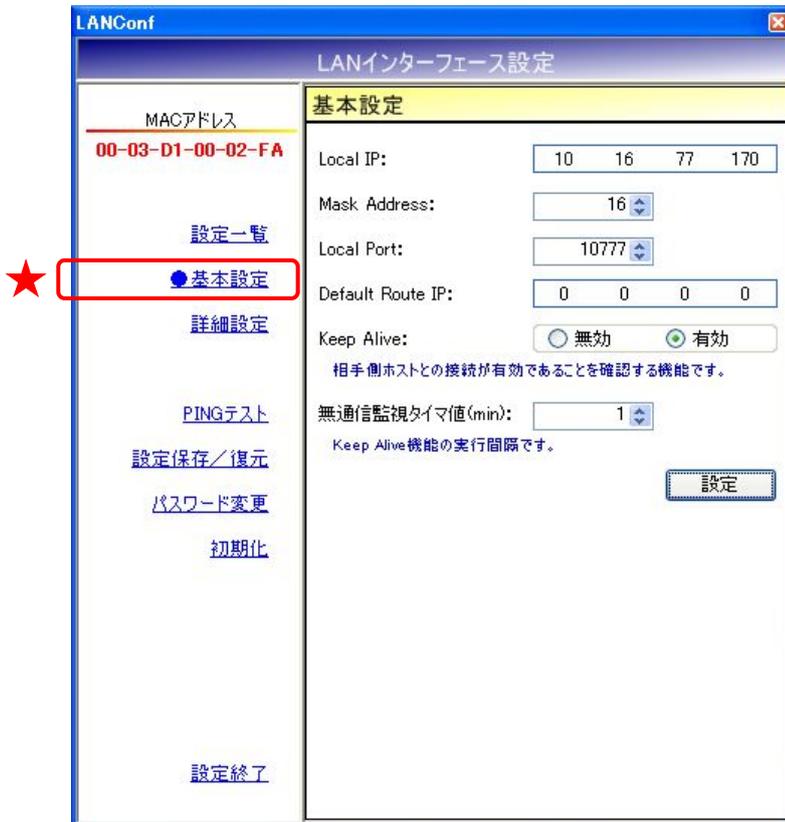
[初期化](#)

[設定終了](#)

設定内容	設定値
Local IP	10.16.77.170
Mask Address	16
Local Port	10777
Default Route IP	0.0.0.0
Keep Alive	有効
無通信監視タイマ値(min)	1
Connection動作	パケット・オープン
Foreign IP	0.0.0.0
Foreign Port	3335
通信速度	19200bps
TCP Send Timer(ms)	10
パケット・オープン受付許可IP 01	0.0.0.0
パケット・オープン受付許可IP 02	0.0.0.0
パケット・オープン受付許可IP 03	0.0.0.0
パケット・オープン受付許可IP 04	0.0.0.0
パケット・オープン受付許可IP 05	0.0.0.0
パケット・オープン受付許可IP 06	0.0.0.0
パケット・オープン受付許可IP 07	0.0.0.0
パケット・オープン受付許可IP 08	0.0.0.0

4.3 基本設定

LAN インターフェースの基本情報を設定します。

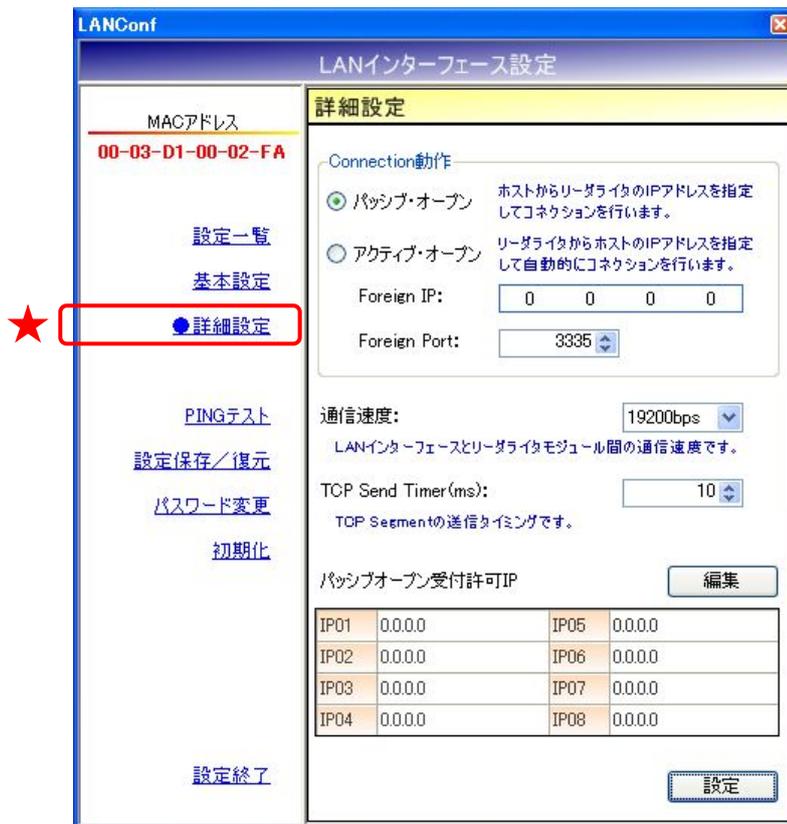


各パラメータ値の変更内容は、[設定]ボタンをクリックすることで確定します。
各パラメータ値の変更後、[設定]ボタンをクリックせずに別画面（設定一覧、詳細設定など）を表示した場合は、変更内容が無効になります。

- Local IP
リーダライタ本体の IP アドレスを入力します。
- Mask Address
リーダライタ本体の IP アドレスに対するサブネットマスク長を入力します。
入力可能な値の範囲は「0～31」です。
- Local Port
リーダライタ本体側のポート番号を入力します。
入力可能な値の範囲は「1024～65535」です。
このポート番号は、アクティブ・オープン時/パッシブ・オープン時に共通です。
- Default Route IP
デフォルトゲートウェイの IP アドレスを入力します。
- Keep Alive
無通信状態が一定時間継続した場合に Keep パケットを送信する Keep Alive 機能を選択します。
- 無通信監視タイマ値(min)
Keep Alive 機能を動作させる間隔を分単位で入力します。
入力可能な値の範囲は「1～60」です。

4.4 詳細設定

LAN インターフェースの詳細情報を設定します。



各パラメータ値の変更内容は、[設定]ボタンをクリックすることで確定します。
各パラメータ値の変更後、[設定]ボタンをクリックせずに別画面（設定一覧、基本設定など）を表示した場合は、変更内容が無効になります。

- **Connection 動作**
idle 状態時にアクティブ・オープンの試行をするかどうかを選択します。
本項目が「アクティブ・オープン」に設定された場合、TCP コネクションが開設されていない状態においては Foreign IP・Foreign Port で指定された相手側ソケットに対して、TCP コネクションのアクティブ・オープン試行を繰り返します。
- **Foreign IP**
アクティブ・オープンを行う際の相手側ホストの IP アドレスを入力します。
- **Foreign Port**
アクティブ・オープンを行う際の相手側ホストのポート番号を入力します。
入力可能な値の範囲は「1024～65535」です。
- **通信速度**
シリアルインターフェースのデータレートを選択します。
- **TCP Send Timer(ms)**
TCP セグメントの送信タイミングをミリ秒単位で入力します。
入力可能な値の範囲は「1～100」です。
シリアルインターフェースから最後のデータが入力された時点から、本設定時間が経過したタイミングにて TCP セグメントの送信が実行されます。

- パッシブオープン受付許可 IP
パッシブ・オープンを許可する相手側ホストの IP アドレスを入力します。

IP01～IP08 までの設定すべてが「0.0.0.0」の場合、すべての IP アドレスからのパッシブ・オープンを許可します。

それ以外の場合、IP01～IP08 に設定した「0.0.0.0」以外の IP からのパッシブ・オープンのみを許可します。

IP01～IP08 のいずれかに「255.255.255.255」を設定し、それ以外のすべてに「0.0.0.0」を設定した場合、すべてのパッシブ・オープンを拒否します。

[編集]ボタンをクリックすると次のような画面が起動します。

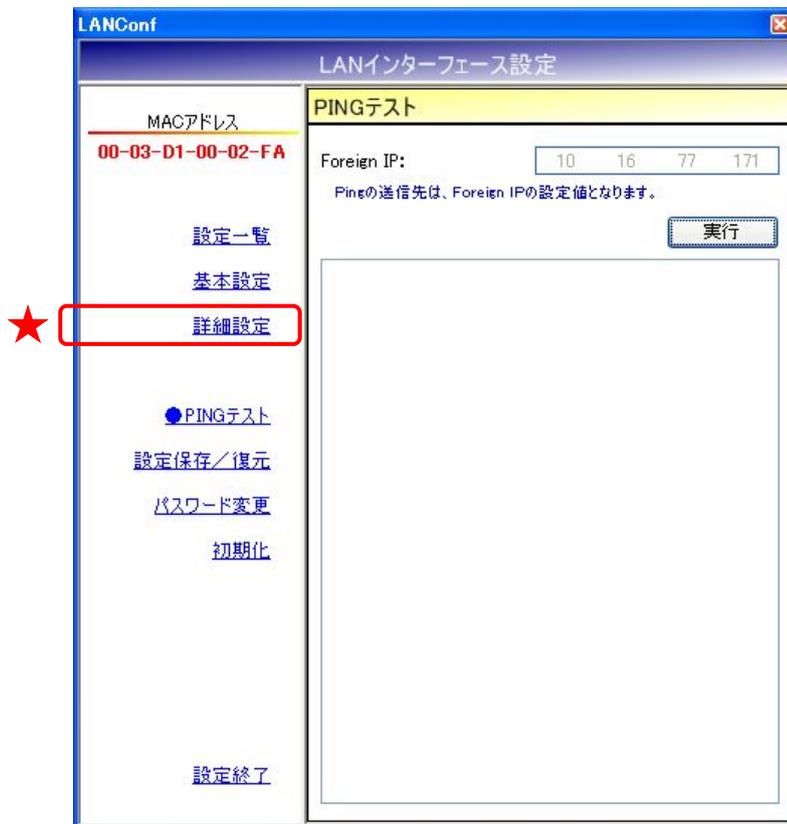
The screenshot shows a dialog box titled "PermitIP" with a subtitle "パッシブ・オープン受付許可IP設定". It contains eight rows, each with a label "パッシブ・オープン受付許可IP 01:" through "08:", a text input field containing "0 0 0 0", and a "消去" (Clear) button. At the bottom, there are "OK" and "Cancel" buttons.

パッシブ・オープンの受付を許可する IP アドレスを入力します。
[OK]ボタンをクリックすると入力が完了します。

[消去]ボタンをクリックするとボタン左側入力欄の値が「0.0.0.0」に初期化されます。

4.5 PING テスト

Foreign IP に設定された IP アドレスの割り当てられた端末に対して、ping によるネットワークの疎通確認を実施する機能です。



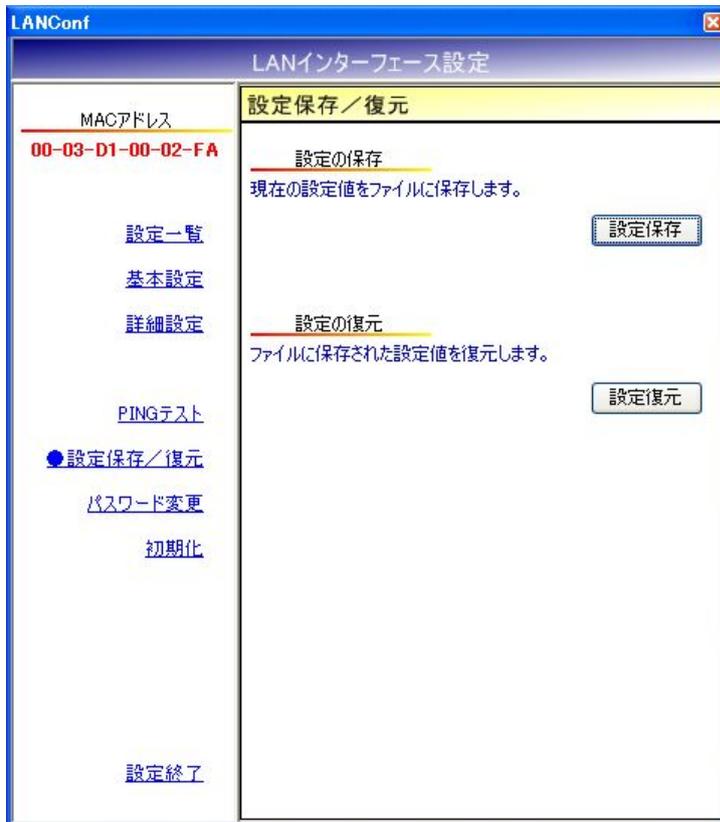
[実行]ボタンをクリックすると ping による疎通確認が実行されます。

次の画面は、10.16.77.171 の割り当てられた端末に対して、ping によるネットワークの疎通確認を行った様子を示します。



4.6 設定保存／復元

LAN インターフェース設定値をテキストファイルに保存します。(バックアップ)
または、テキストファイルに保存された LAN インターフェース設定値を復元します。(リストア)

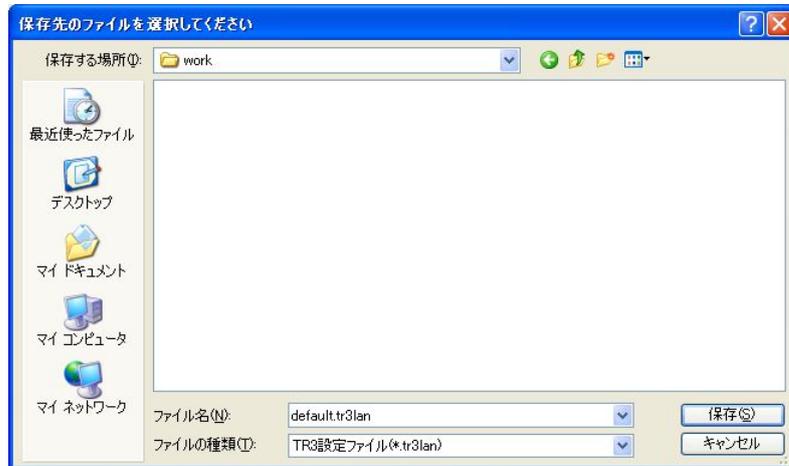


※ 注意事項

設定復元は、必ず本ソフトウェアの設定保存機能によって出力されたテキストファイルを利用してください。
また、設定保存機能によって出力されたテキストファイルの内容をテキストエディタ等で編集することは絶対にしないでください。

- 設定保存（バックアップ）
現在の LAN インターフェース設定値をテキストファイルに保存します。

[設定保存]ボタンをクリックすると次の画面が表示されます。



保存先のフォルダ、ファイル名を入力して[保存]ボタンをクリックします。
保存に成功すると次の確認メッセージが表示されます。

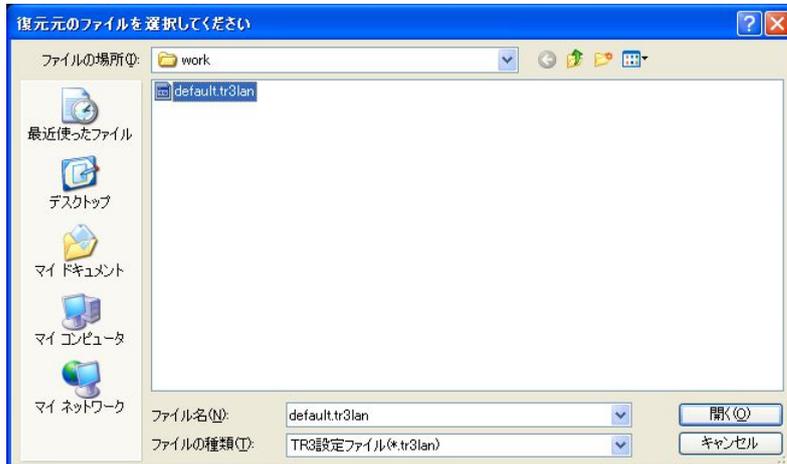


● 設定復元（リストア）

テキストファイルに保存された LAN インターフェース設定値を復元します。
必ず本ソフトウェアの設定保存機能によって出力されたテキストファイルを利用してください。

復元処理を実行すると現在の LAN インターフェース設定値は上書きされます。
事前に現在の設定値を保存しておくことをお勧めします。

[設定復元]ボタンをクリックすると次の画面が表示されます。



復元元のファイルを選択して[開く]ボタンをクリックします。
復元が成功すると次の確認メッセージが表示されます。



4.7 パスワード変更

ログインパスワードを変更します。

The screenshot shows the LANConf web interface. The title bar reads "LANConf". The main heading is "LANインターフェース設定". On the left sidebar, the "パスワード変更" (Password Change) option is selected and highlighted with a red star and a red box. The main content area is titled "パスワード変更" and contains the following text and form elements:

- MACアドレス: 00-03-D1-00-02-FA
- 設定一覧
- 基本設定
- 詳細設定
- PINGテスト
- 設定保存/復元
- パスワード変更 (highlighted)
- 初期化
- 設定終了

The "パスワード変更" section contains the following text and form elements:

- ログインパスワードを変更します。
変更後は再接続が必要です。
- 現在のパスワード:
- パスワード変更:
- パスワード変更(確認用):
- 変更 (button)

パスワードの変更は、[変更]ボタンをクリックすることで確定します。
[変更]ボタンをクリックせずに別画面（設定一覧、基本設定など）を表示した場合は、変更内容が無効になります。

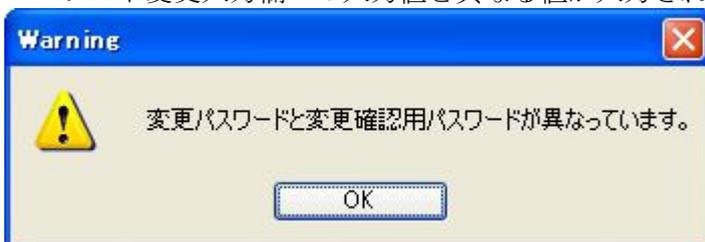
- 現在のパスワード
現在のパスワードを入力します。
現在のパスワードが誤っている場合には、次の画面が表示されます。



- パスワード変更
変更後のパスワードを入力します。
パスワードに空文字（パスワードなし）を設定することはできません。
本フィールドに入力がない場合は、次の画面が表示されます。



- パスワード変更（確認用）
パスワード変更入力欄への入力値と同じ値を入力します。
パスワード変更入力欄への入力値と異なる値が入力されている場合は、次の画面表示されます。



[変更]ボタンをクリックすると次の確認画面が表示されます。



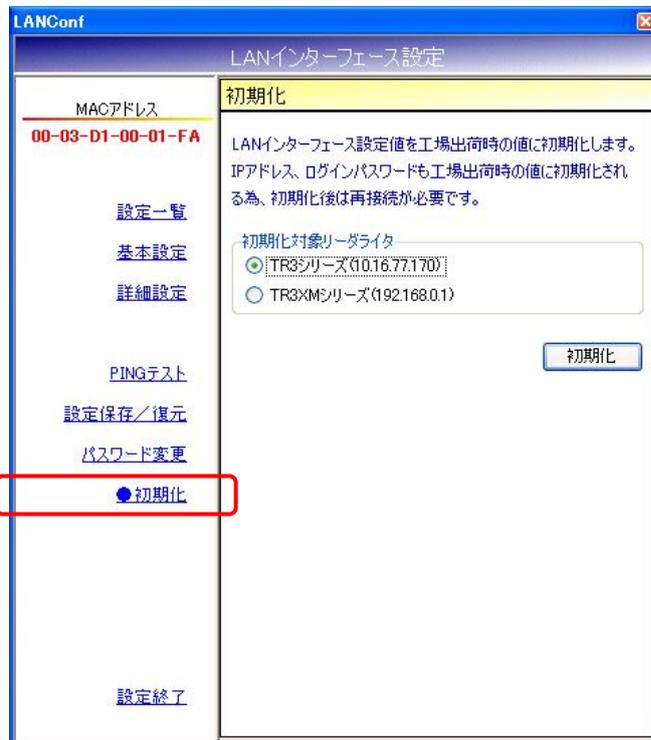
[OK]ボタンをクリックするとパスワードが変更されます。
[キャンセル]ボタンをクリックすると何も処理を行いません。

パスワードの変更後は、本ソフトウェアを再起動することが必要です。
本ソフトウェアは、パスワードの変更が行われると自動的に終了します。

4.8 初期化

LAN インターフェースの設定値を工場出荷時の値へ初期化します。
ログインパスワードも初期化されます。

工場出荷時の設定値は「4.1 工場出荷時設定一覧」を参照ください。



接続されている機種（TR3 シリーズ、TR3XM-SN01）を選択し、[初期化]ボタンをクリックすると次の画面が表示されます。



[OK]ボタンをクリックすると初期化処理が実行されます。
[キャンセル]ボタンをクリックすると何も処理を行いません。

初期化処理が完了すると次の画面が表示されます。



初期化処理完了後は、本ソフトウェアを再起動することが必要です。
本ソフトウェアは、初期化処理が完了すると自動的に終了します。

変更履歴

Ver No	日付	内容
1.00	2013/2/21	新規作成
1.01	2017/2/1	動作 OS 追記 1.2 動作対象機器 追記

タカヤ株式会社 事業開発本部 RF 事業部

[URL] <http://www.takaya.co.jp/>

[Mail] rfid@takaya.co.jp

仕様については、改良のため予告なく変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。